



国際交流ひろば

2026
春

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL.276/2026

鹿児島県国際交流協会からの お知らせ (6月~7月)

6/13
(土)

ワールドトークサロン
「韓国文化紹介講座」

「韓国」のスポーツ

～野球場文化～

日時: 6月13日(土)

▶ 第1部 10:00~11:30 (韓国語による)

▶ 第2部 13:30~14:30 (日本語による)

場所: カクイックス交流センター1階 会議室 A

参加費: 100円

申込はこちらから↓



みんなの交流会「ブラジルの文化」

開催内容・
申込方法等の詳細は
当協会 HP にて
順次ご案内します。

日時: 7月18日(土) 9:30~11:30

場所: カクイックス交流センター1階
会議室 A

参加費: 1,000円

7/18
(土)

日本語ボランティア入門講座・スキルアップ講座

6月上旬~
8月上旬

日時: 6月上旬~8月上旬の毎週日曜日

場所: カクイックス交流センター1階
会議室 B

参加費: 無料

詳細はこちら↓



遠方の方は

Zoom 参加も OK!

※上記講座については、(公財)鹿児島県国際交流協会までお問合せください。

「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、県内企業で働くインド共和国ご出身の ドゥルバ ナラヤナ カタパディ さんをご紹介します。

ご出身やご家族のことで教えてください。

インド南部のカルナータカ州の出身で、インド出身の妻と子どもと暮らしています。実は、私たち家族は全員名字(姓)が違います。インドでは、名字の付け方に決まりはなく、各家庭の考え方や本人の希望によって自由に選ぶことができます。妻は私の名前を、子どもは私のミドルネームを名字にしています。

インド出身
ドゥルバ ナラヤナ カタパディさん



奥様もインドのご出身なんですね。

一妻は私の出身地の南にあるケーララ州の出身です。偶然同じ時期に留学し、鹿児島大学の留学生会館で出会いました。当時は多くの留学生の中でインド人は2人だけで、本当に運命の出会いでした！2人が博士課程を修了した時に結婚し、その後子どもを授かり、出産は妻が里帰りして行いました。

現在は鹿児島県の企業にお勤めなんですね。

一インフラテック(株)の開発課に所属しています。環境工学を専門に、環境にやさしいコンクリートの研究開発をしています。また、週に1回、鹿児島大学で講義も担当しています。妻も大学教員で、お互いに国内外への出張が多く、子育てをしながらの生活は大変ですが、とても充実した日々を送っています。

日本での子育てはどうですか？

一夫婦ともに出張で家を空けることが多いので、妻と調整しながら子育てしています。近くに頼れる家族がいないのは大変ですね。学童に行かせたり、習い事に連れて行ったりと毎日慌ただしいですが、鹿児島が大好きなので、3人で頑張っています。

今、子どもが小学4年生になり、これまで保育園、幼稚園、小学校と通わせてきました。その中で、私や妻が「親として、もっと日本語の読み書きを勉強しなければ」と感じる場面が増えてきました。

留学生として来日した当初は、「こんにちは」も言えないほどでしたが、先生や研究室の仲間との会話を通して日本語を身につけました。今では仕事や日常生活で困ることはほとんどありませんが、子どもの成長に伴い、学校関係の書類や保護者同士のやり取りなど、より細やかな日本語が必要になる場面が増えていると感じます。

特に印象に残っているのが、保育園のときの「連絡帳」です。その日の子どもの様子を書かなければならないのですが、先生は「ひらがなで大丈夫よ」と言ってくれました。でも、英語で考えて翻訳アプリで日本語にすると、どうしても難しい漢字が出てきてしまい、「これはどう読むの?」「ひらがなではどう書くの?」と戸惑ったんです。そこから改めて、日本語の読み書きを勉強し直しました。



鹿児島で暮らすドゥルバさんご家族

また、小学校に入ると、教材の申込用紙など、親が書く書類がたくさんあります。「失敗してはいけない」と思うので、職場の同僚に見てもらいながら、「何を書くのか」「これで合っているのか」を確認しています。

そして、PTA やスポーツ少年団との関わりもあります。連絡はLINE なので読めるのですが、細かなニュアンスまで理解できていない不安で、周囲に確認してから返信するようにしています。

さらに、妻は日本のお弁当作りも本当に頑張っています。日本のお弁当は、インドや他の国とも少し違って、種類も多く見た目もきれいですよね。妻はインターネットで調べたり、同僚のお弁当を見せてもらって作り方を教わったりしているそうです。予行練習までしていますが、「卵焼きだけはどうしても上手くいかない」と今でも言っています。

戸惑うこともありますが、そのたびに同僚や日本人の友達が助けてくれるので、本当にありがたいなと思っています。

ご家庭での言語について教えてください。

一私たち夫婦は、同じインド出身でも母語が違います。インドでは英語やヒンディー語のほかに州ごとの言語があり、私はカンナダ語、妻はマラーヤラム語を話します。2人のときはそれぞれの言語で話しますが、子どもがいるときは英語で話すと決めています。子どもは外では日本語を使い、学ぶ環境がありますが、将来を考えると英語も大切だと思っているので、家庭では英語を使うようにしているんです。

地域の方とも関わりがあるんですか？

一地区 PTA の活動として地域の清掃活動、行事などに家族で参加しています。そうした機会を通して近所の方と顔見知りになることができ、助けていただくことも多いです。

妻が出張で家をあけるときには、ご近所の方が料理を持ってきてくれることもありますし、この間は子どもが鍵を忘れて家に入らなかったときに、わざわざ連絡をくれました。とても気にかけてもらっていて、本当にありがたいです。この地域で暮らせてよかったと感じています。

日本で生活していて気づいたことがあれば教えてください。

一日本で生活していると、日常の中に多くのルールやマナーがあると感じます。来日したばかりの頃は分からず、母国との違いに戸惑うことも多かったです。例えば、ゴミの分別は細かく決まっていて、最初はどのように分ければよいのか迷いました。また、電車の中で電話を控えるといったマナーも、国によって違うため気づかないまま過ぎてしまうこともあります。

入国時に生活に関する動画を見る機会もありますが、実際に生活してみると、細かい部分まではなかなか理解しきれないこともあります。ルールやマナーについては、社会人がビジネスマナーを学ぶのと同じように、来日後に少し時間をかけて知る機会があると、より安心して生活できるのではないかと思います。また、外国人でも利用できる制度について、情報が十分に届いていないと感じることがあります。例えば県営住宅についても、外国人も利用できると聞いたことはあるのですが、具体的な情報に触れる機会が少なく、私自身も含めて周りの外国人の中でもよく分からないという声を聞くことがあります。そうした情報が分かりやすく伝わることで、安心して暮らせる人が増えるのではと思います。

これから日本で生活する外国人へメッセージをお願いします。

一わからないことがあったときに、一人で抱え込まずに周りの人に頼ってほしいと思います。私自身も、子どもの学校の書類がよく分からず、同僚に見てもらったことがあります。「ここはこういう意味だよ」と一つひとつ教えてもらって、本当に助かりました。言葉ができないと遠慮してしまいがちですが、相談してみると、日本の方はとても親切に教えてくれますよ！



深圳日本人学校 教諭 坂元 宏輝

【鹿児島から深圳へ】



坂元先生ご家族

私は昨年4月、文部科学省の在外教育施設派遣教員として、鹿児島県から中華人民共和国広東省深圳市にある深圳日本人学校へ赴任しました。文部科学省での辞令交付式を終れた後、妻、そして当時6歳だった息子とともに深圳へ向かいました。約5時間のフライトを経て深圳宝安国際空港に到着すると、深圳日本人学校の先生方が温かく迎えてくださり、不安が一気に和らいだことを今でも覚えています。息子も深圳日本人学校で無事に入学式を迎えることができました。

【深圳での生活】

深圳は、もともとは小さな漁村だったようですが、経済特区に指定されて以降、「中国のシリコンバレー」と呼ばれるほどに発展し、わずか30年で人口が30万人から1400万人へと増加したそうです。街並みはまさに「絵に描いたような近代都市」で、ロケットのようにそびえ立つ高層ビルが至る所に見られます。公共交通機関も非常に発達しており、最近ではロボットが運転する「無人タクシー」も多く走っています。また、多くの監視カメラや保安員の方々が安全を守っているため、治安も非常に良好です。さらに、深圳は亜熱帯性気候に属しており、年間を通して温暖で、冬もそれほど寒くないため、とても過ごしやすい地域です。



深圳の夜景

【深圳日本人学校での取組】



深圳の監視カメラ

深圳日本人学校には、小学部・中学部合わせて約200名の児童生徒が在籍しています。子供たちは学習に意欲的で、明るく元気に学校生活を送っています。本校は教科担任制を採用しており、昨年度は5年生の担任に加え、小学部の算数と中学部の技術を担当しました。教員として新たに学ぶことが非常に多い1年でしたが、特に「技術」の授業

では、日本では得難い多くの経験をさせていただきました。

中学部2年生の栽培分野の学習では、日本との気候の違いや必要物品の調達方法、さらに学校の立地条件などから、さまざまな課題が生じました。そこで、子供たちとともに問題解決の方法を考えながら、一歩ずつ前に進んでいきました。育てた苗が増えてきたため、学校を警備してくださっている中国人の保安員の方々におすそ分けをしたところ、翌日から畑仕事を手伝ってくださるようになりました。言葉が十分に通じなくても、お互いを尊重する気持ちがあれば、コミュニケーションは成り立つのだと強く感じた出来事でした。

結果として、収穫できたものもあれば、果実をつけるまでに至らなかったもの、ゲリラ豪雨の被害を受けてしまったものもあり、理想通りの結果ばかりではありませんでした。しかし、子供たちからは「海外で作物を育てることの難しさを知ることができた。生産に関わる方々への感謝の気持ちをもちたい」といった感想を聞くことができ、大変意義のある学びになったと感じています。

これからも深圳でさまざまなことに挑戦し、帰任した際には、ここで得た経験を鹿児島の教育に還元していきたいと考えています。

おしゃべりCAFE

鹿児島県国際交流協会働く外国人スタッフの日本語での楽しいおしゃべりをのぞいてみましょう!



テーマ：先生の日

本日の参加者： 韓国 Jさん シンガポール Yさん ベトナム Lさん 日本 M

M: この間、国によっては「先生の日」があるって聞きました。皆さんの国の「先生の日」について教えてください。

J: 韓国は5/15で、李氏朝鮮時代の第4代世宗国王の誕生日です。世宗がハングルの文字を作ったりして、多くの業績を残したので、韓国でも尊敬されている人だから、その日に決まったみたいです。

M: どんなことをするんですか?

J: 「師匠の歌」というのがあって、先生が教室に入ってきたらそれを歌ったり、お花やケーキをプレゼントして感謝の気持ちを伝えます。サプライズパーティーみたいな感じ。実は、その準備で授業の時間をちょっと使ったりするんですけど、怖い先生だとやらないこともあって(笑)。クラスによって結構違います。

Y: シンガポールは、9月の最初の金曜日です。その日は学校が休みだから、その前日に、全校生徒が集まってステージで歌や劇などのパフォーマンスをします。卒業生が来てお祝いすることもあります。プレゼントはメッセージカードが多いです。お花はすぐ枯れちゃうから、あまり渡さないかな。卒業した学校や塾の先生、自分が好きな先生にも渡すので、人気な先生はたくさんもらいますね。

M: 先生の人気度がわかっちゃうから、先生たちも戦々恐々だね(笑)。

R: ベトナムは11/20です。ベトナムでは先生を敬う意識がすごく高いから、この日はとても重要な日なんです。どの学校も1か月前から歌や劇の練習をしたり、先生へのメッセージ入りの新聞を作ったりして大忙し。あとは「○○コンテスト」とかもあって、生徒同士が競い合うことで、「先

生が育てた生徒がこんなに頑張ってるよ」というのを見せたりとかね。だから、11月はとっても忙しいの。保護者もお金を出し合って、プレゼントを準備するんですよ。現金やギフトカードを渡すこともあるし、パソコンや携帯電話をあげたり、教室用のエアコンをプレゼントしたと聞いたこともあります。

全員: えー! エアコン?! 教室に?!

R: そう。でも、進級したら別の生徒や先生が使うことになるけどね(笑)。でも、定番はシャンプーとコンディショナー。賞味期限とかないし、実用的だから。先生はその日に、生徒や保護者からシャンプーとコンディショナーをたくさんもらうから、1年間買わなくて大丈夫(笑)。

J: 韓国では、花だったらカーネーションが定番かな。5/5が子どもの日、5/8が両親の日、5/15が先生の日で、両親の日もカーネーションが定番。だから、その時期はお花屋さんとかにかく忙しいんです。実は、私の親戚が花屋なので、その時期は手伝いをしていました。カーネーションをたくさん仕入れて、5/15には売り切らないといけなくて、すごく必死! だから、先生の日は、忙しく花を売っていた記憶の方が印象に残っています(笑)。

Y: 私も先生への感謝の思い出というより、その日は卒業した学校に同級生が集まるので、同窓会みたいな感じになるんです。同級生と昔の話で盛り上がるみたい。それが、一番印象的ですね。

M: それぞれの先生の日、個性があって面白いですね。日本版「先生の日」も見たいくなりました。

2025 年度 3 次隊が出発！ 帰国隊員による帰国報告も行われました！

鹿児島県から、2025 年度 3 次隊として 1 名の JICA 海外協力隊員がペルーへ出発しました。職種は柔道で、鹿屋体育大学と JICA の大学連携派遣により、現地で子どもたちや指導者への柔道指導に取り組みます。

3 月 27 日には県庁を訪れ、副知事へ出発報告を行いました。隊員は「柔道を通して交流し、互いに成長したい」と抱負を語りました。任期は 2 年間で、現地の課題解決と国際交流の促進が期待されています。

同日、3 名の帰国隊員（エルサルバドル／野球、フィリピン／防災・災害対策、モロッコ／青少年活動）が活動報告を行い、それぞれが現地での成果や学びを共有しました。

現在、鹿児島県出身の協力隊員は 13 か国 16 名が活動中です。海外協力隊は約 200 職種、20～69 歳まで幅広く参加でき、国際協力への第一歩として多くの人に開かれています。

あなたの一歩が、世界を変える力になります！



JICA 海外協力隊は、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線でその国や地域の課題解決に貢献する活動を行っています。

「人生なんてきっかけひとつ」

今の自分をなんか変えてみたい。せつかくならドキドキすることをしてみたい。もしそう感じるがあったら、それはあなたの心がくれたサインかもしれません。見たことのない景色、新しい自分に会いに、一歩踏み出してみませんか？

問合せ先
個別相談

JICA デスク鹿児島 TEL:090-7167-4238

鹿児島市山下町 14-50 カクイクス交流センター



がいこくじんそうごうそうだんまどぐち 外国人総合相談窓口

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口
です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困った
ことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/
タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/
タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレ
ー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モン
ゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクラ
イナ語/ウルドゥー語/トルコ語/アラビア語

鹿児島県国際交流協会内

TEL: 070-7662-4541

E-mail: kiasoudan@gmail.com



Facebook



← 天文館方面

霧島方面 →

本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会

(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 カクイクス交流センター1階
(かごしま県民交流センター1階)

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください♪